

2025年ビルマ研究会/ 2025 Japan Burma Studies Conference

プログラム/ Program

Venue Common Lecture Bld B

5/17(土) Day 1 (会場: 共通講義棟B・201)

10:20 - 17:00 受付 Registration

11:00 開会の辞 Opening remark

11:10-12:10 Session 1 歴史①周辺地域とのつながりから(座長:TBA)

報告1:「バガンのナンダミンニャー寺院の仏伝図の配置:井上隆雄写真資料の利活用とインドのラダックとスピティの壁画配置との比較から考える寺院空間構想の特徴」(寺井淳一・国立民族学博物館)

報告2:「山地からみた国境と主権ー 緬甸国境画定と山地民ラフの宗教運動ー」(片岡樹・京都大学)

12:10-13:15 昼休み Lunch Break *弁当のケータリングあり(事前申込制)

13:15-14:45 Session 2 歴史②:記録と語り(座長:TBA)

報告1:「在りし日のミャンマー領アンダマン海(2):外国人の記録と在タイ・モーケン人の語りから」(鈴木佑記・国土館大学)

報告2:「英領期のビルマ人高等文官とナショナリズムーU Ohn (ICS)への聞き取り(1994年)から」(根本敬・上智大学(名誉教授))

報告3:「資料紹介:8888 コレクションについて」(伊野憲治・所属なし)

14:50-16:20 Session 3 現代ミャンマー:国営紙・美術・仏教実践(座長:TBA)

報告1:「「国営紙から読み解くミャンマー(ビルマ)問題」ー英字紙『ザ・グローバル・ニュー・ライト・オブ・ミャンマー』を中心にしたデータベースの活用方法ー」(宇田有三・所属なし)

報告2:「1960 - 70年代のミャンマー現代美術ー Modern と Contemporary をめぐって」(五十嵐理奈・福岡アジア美術館、山本文子・所属なし)

報告3★: “Learning Burmese to Learn Buddhism: The Pursuit of a Literate Buddhist in Contemporary Myanmar and Beyond”
(Rachelle Saruya, University of Tokyo)

16:20-16:40 休憩 Break

★印の発表は英語での発表です。 / Presentations marked with ★ will be in English.

16:40- 18:10 パネル/ Panel Session

Buddhism and Nationalism in Twentieth-century Myanmar: Revolutionary, Reactionary, Emancipatory? (Organized by Tony Scott) (Chair: Kei Nemoto)

発表1★: “Buddhism, Anti-Colonialism, and Transnational Activism: The Role of U Ottama in Colonial Burma and Beyond”

(Maynadi Kyaw, Ph.D student at Kyoto University)

発表 2: 「若きシン・オカタの世界観と独立国ビルマの軌跡」

(Toru Kawabe, Ph.D student at Sophia University)

発表 3★: “The Metaphysics of Emancipation: Future of the Sāsana on the Eve of Burmese Independence,” (Tony Scott, JF-GLS Fellow at University of Tokyo)

全体討論/ Discussion

18:30-20:00 懇親会 Conference Dinner(会場:共通講義棟 B・CRI-1)

Venue Common Lecture Bld B
5/18(日) Day 2 (会場: 共通講義棟B・201)

8:30- 11:30 受付 Registration

9:00-10:30 Session 4 ミャンマーの未来に向けて:資源利用と支援(座長:TBA)

報告1★:“Progress in Planning the Resources Exploration for Future Myanmar(ミャンマーの将来に向けた資源探査計画の進捗)”(MOE KYAW/ モーキョー・海洋研究開発機構)

報告2:「学校教育現場におけるミャンマー啓発活動-ヤンゴンからたプロジェクトの事例から-」

(野中優那・国際基督教大学、石川航・立教大学大学院)

報告3:「コロナ禍・クーデター後のミャンマーと向き合うこと:フォトグラファーが支援者へ」

(亀山仁・一般社団法人 ミャンマーの平和を創る会)

10:45-12:15 Session 5 クーデター後のミャンマー:政治・経済・教育(座長:TBA)

報告1:「バランスをとるカイン武装勢力」(佐々木研・学習院大学非常勤講師)

報告2:「輸出向けフルーツ生産へのコロナ禍とクーデターの影響:サガイン管区のメロン栽培の事例分析」

(久保公二・学習院大学)

報告3:「ミャンマーにおける 2021 年クーデター後の教育課題~CDM 学生を焦点にして~」

(ナンミャケーカイン・京都精華大学)

12:15-12:20 閉会の辞 Closing remark

★印の発表は英語での発表です。 / Presentations marked with ★ will be in English.